

小学校外国語の評価にあたっては、毎時の授業で全ての領域や観点を見取る必要はありません。時間や活動によって評価の観点を絞るなどの工夫や、評価の記録に残す場面などを重点的に計画しておくことによって、最終的に単元や学期などを通じて、評価が網羅できていることが大切です。

また、評価は「逆向き」に設計するようにしましょう。各単元の評価規準（「つきたい力」）を確認し、単元の終わりに「(児童を) こういう姿までもっていきたい」という到達目標からスタートして、前段階で必要となる指導や学習状況の評価について計画しましょう。

本資料では、評価の計画を立てる際に、児童の学習の過程を把握し、その後の学習を促すための「形成的評価」から、指導の最後に、学習の成果を総合的に把握するための「総括的評価」までどのようにつなげていくかを考えるためのヒントを示しています。

シート①「各単元と評価の関連および評価計画の一例」

単元ごとに評価が可能な領域(○印)と、特に記録に残す評価を推奨する領域(●印)を示しています。評価を推奨する領域については、学期ごとに5領域3観点を網羅するように選ばれています。これはあくまで一例で、この通りに評価をしなければならないというわけではありません。まずはこのシート①を参照していただき、各校の到達目標に合わせて、どのUnitでどの領域を見取るのか、計画を立てる際にお役立てください。

シート②「教科書と評価の関連および評価の流れ」

Here We Go!5, 6のUnit内の各コーナーや各教材と評価との関連を示しています。それぞれの領域について評価が可能なコーナー(◆)と教材(◇)を示しています。シートは5年と6年の2枚に分かれています。Jumpから逆向きにどのStepのどの活動が重要かを判断し、記録に残す場面を選択します。

このシート②では、形成的評価(児童の学習の過程を把握し、その後の学習を促す評価)から総括的評価(指導の最後に、学習の成果を総合的に把握する評価)への流れや、単元内での評価とペーパーテストとのつながりをご確認いただけます。年間指導計画(2020年6月弊社ウェブサイトへアップ)と併せて、指導と評価の計画にお役立てください。

評価の流れ(配当時間6時間 [聞くこと][話すこと(やり取り/発表)]を評価する例)

[形] = 形成的評価, [総] = 総括的評価

	知識・技能	思考・判断・表現	態度
1時	—	—	—
2～5時	聞 Let's listen. / 話 Let's play. [形]	話 Let's try. [形]	
6時	聞 World Tour [総] / 話 You can do it! パフォーマンス評価 [総]		
		聞 評価テスト [総] *	

*指導書専用ウェブサイトからダウンロードしてご使用いただけます。

各領域の評価にあたっての基本的な考えと留意事項

【聞くこと】 * 英語の音と文字に関しては下記参照

Stepの「Let's listen.」で《知識》《技能》の形成的評価を行います。Jumpの「World Tour」で《思考・判断・表現》や《態度》も含めて総括的に評価を行うことが可能ですが、より正確な評価には、評価テスト案のような「ペーパーテスト」で総括的評価を行います。ただし、その場合でも「World Tour」で複数の単元に渡って、とりわけ《態度》の形成的評価を行いつつ、総括的評価を行うことが重要です。

【話すこと（やり取り）】【話すこと（発表）】

Stepの「Let's play.」で《知識》《技能》、「Let's try.」で《思考・判断・表現》や《態度》も含めた形成的評価を行い、Jumpの「You can do it!」で全ての観点の総括的評価を行います。やり取りと発表のどちらで評価を行うかは活動で「つけたい力（Can-Do）」によって決まりますが、発表場面をやり取りの場面に変えて評価を行うことも可能です。また、「Let's try.」で総括的評価を行うこともできます。総括的評価にあたっては、採点基準（ループリック）を定めた「パフォーマンス評価」を行い、それ以外の単元においては、「You can do it!」を形成的評価のために用います。

【読むこと】 * 英語の音と文字（<活字体で書かれた文字の識別と発音>）に関しては下記参照

<音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味の理解>に関しては、Stepの「Let's play.」でピクチャーカード等を用いながら《知識》《技能》の形成的評価を行い、「Let's listen and read.」で《思考・判断・表現》や《態度》も含めた総括的評価を行います。「You can do it!」で書くことの成果物のある単元は、読み合わせ活動で総括的評価を行うこともできます。より正確な評価には、評価テスト案のような「ペーパーテスト」で総括的評価を行います。

【書くこと】 * 英語の音と文字に関しては下記参照

Stepの「Let's write.」で《知識》《技能》の形成的評価を行い、Jumpの「You can do it!」で、ポスター等の成果物のある単元において《思考・判断・表現》や《態度》も含めた総括的評価を行います。より正確な評価には、評価テスト案のような「ペーパーテスト」で総括的評価を行います。

注) 英語の音と文字（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）に関しては、「Sounds and Letters」で学習した内容を「Alphabet Time」「Fun Time（文字遊び）」で形成的評価を行い、「ペーパーテスト」（英語の音と文字に関するテスト）で総括的評価を行います。